

せんだい都市交通プランに係る
中間フォローアップについて
— 見直しの方向性と検討状況 —

計画の進行管理(中間年)



- 東西線開業後の交通行動、少子高齢化の進展等に伴う市民ニーズの変化などを踏まえ、**令和3年度から10年間の交通政策の指針**として策定
- 中間年(令和7年度)における計画の進行管理として、**施策の進捗状況等**を関係者間で共有し、**必要に応じて内容の見直し**を行う
- 計画期間後半における取組みの推進を図るため、中間年における**各施策の進捗状況**や**現プラン策定後の状況の変化**を踏まえ、**見直し内容**を検討

令和6年度第4回交通政策推進協議会(3月)

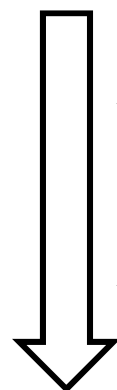
見直しの方向性と今後の進め方について報告

【頂いた主な意見】

- 公共交通利用者数に加えて自動車交通や歩行者数も含めた総合的な評価が必要
- モニタリング指標の見直しだけでなく追加も含めて検討してほしい
- プランの目標が達成されているか、市民意見を聴取するなど検討してほしい
- 将来目標の「東北を牽引する」や「チャレンジ」というキーワードを意識した施策となっているか

見直しの方向性

R3～6年度の
取組の振り返り・評価



市民意見・意識

関連計画の策定等

・地域公共交通計画、ダイバーシティ推進指針 など

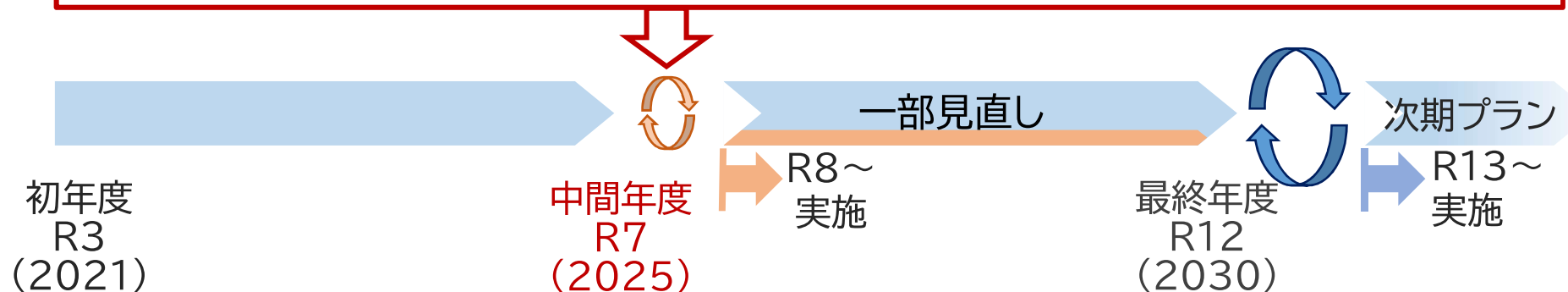
中間フォローアップ

【見直しの方向性】

◎将来目標と基本方針は継続

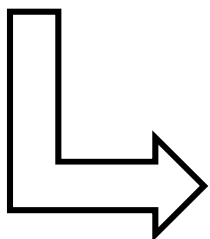
◎関連計画の策定等に伴う施策・取組の一部見直しなど

例) 地域公共交通計画関連施策、バリアフリー関連施策 など



交通の将来目標	基本方針	モニタ リング 指標	R3年度～R5年度の 進捗状況 ※	
			・ 望ましい 方向 ・ 維持	・ 望まし くない 方向
東北を牽引する “新たな杜の都”を支える、 質の高い公共交通を中心 とした交通体系の実現 ～利用しやすい公共交通、 暮らしやすいまちづくり へのチャレンジ～	方針1 質の高い公共交 通を中心とした都 市交通の充実	11指標	9	1
	方針2 賑わい創出に向 けた都心交通環境 の再構築	6指標	2	0
	方針3 多様な都市活動 を支える交通政策 の推進	11指標	7	3

※調査未実施の指標を除く
※各指標値の推移は別紙参照



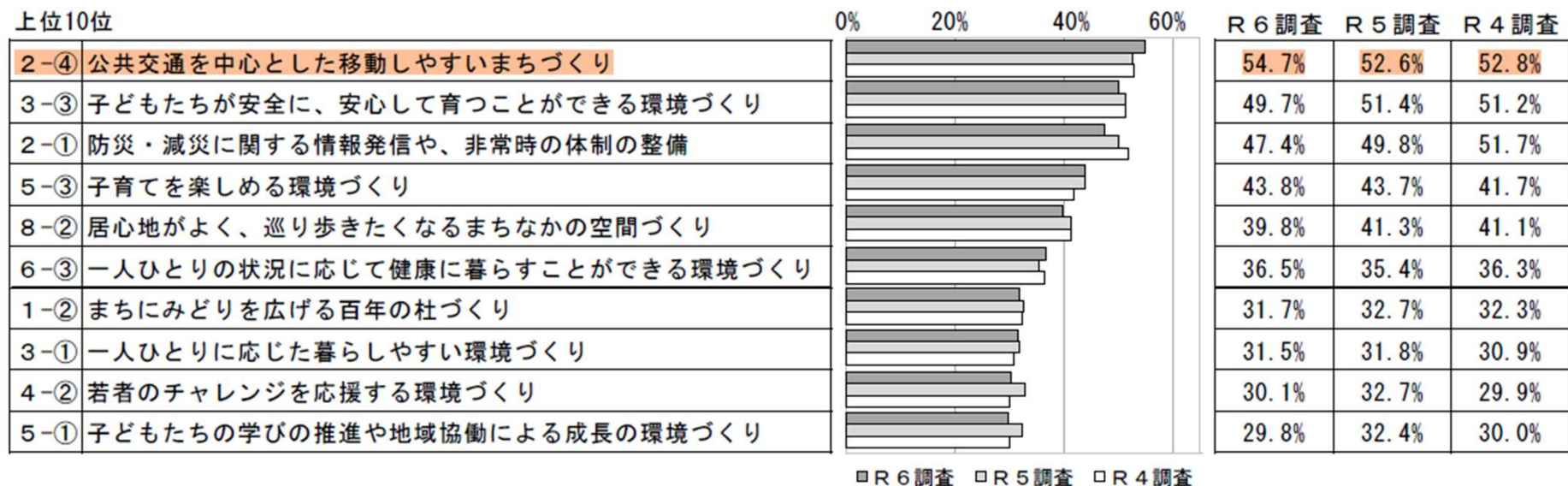
- ✓ 概ね良好に進捗
- ✓ 令和6年度実績を踏まえ改めて評価

➤ 市政モニターアンケート

- 鉄道・バスに対し、運賃施策や車両のバリアフリー化などの取り組みを評価する一方、便数や定時性を不満とする意見もある

➤ 仙台市市民意識調査

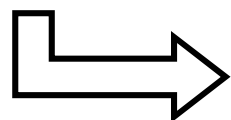
- 「今後特に力を入れていくべきと思う施策」に対し、「公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」が26の施策分類の中で1位となっている（令和4～6年度）



- ➡
- ✓ 公共交通の利便性を高めるための取り組みが引き続き必要
 - ✓ 上記以外の項目も踏まえ振り返り・評価に反映

➤ 地域公共交通計画(R4.3月策定)

- 公共交通ネットワーク(右図)を設定し、各種施策を推進
- 令和7年度からは、次期計画の策定に向けた調査・検討に着手



✓ 施策の内容に反映

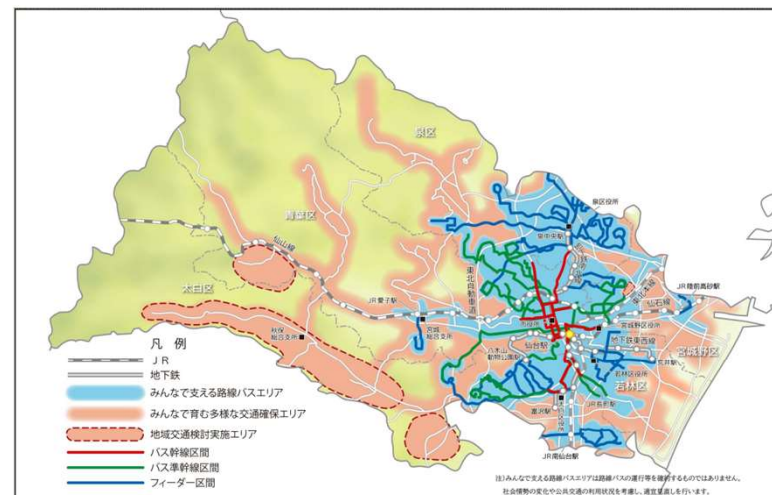
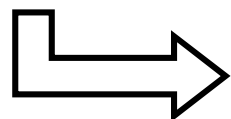


図:公共交通ネットワーク

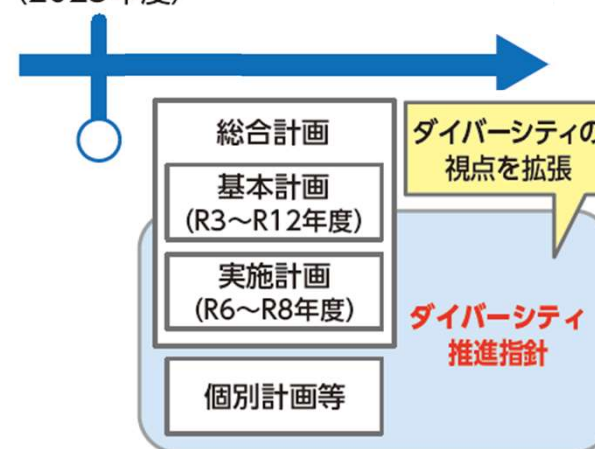
➤ ダイバーシティ推進指針(R7.3月策定)

- 本市のさまざまな施策を検討・実施する際に盛り込むべきダイバーシティの視点等を取りまとめた指針
- 推進指針の考え方は、個別計画にも順次反映していくこととしている



✓ 施策の考え方に反映

R7年度
(2025年度)



- 外国人住民の増加に向けた環境整備など喫緊の課題に対応
- 実施計画や個別計画等をダイバーシティの視点から拡張

図:ダイバーシティ推進指針の位置づけ

今後の予定

中間フォローアップ

【見直しの方向性】

- ◎将来目標と基本方針は継続
- ◎関連計画の策定等に伴う施策・取組の一部見直しなど

■交通政策推進協議会へ意見聴取する事項

本日 →

2025年6月

- ・ 中間報告（見直しの方向性と具体的な進め方）

素案作成までの実施事項

- 令和3～6年度の取組の振り返りとプラン進捗の評価
- 施策等の見直し内容詳細の検討、庁内外の調整

2025年11月

- ・ 中間フォローアップ 素案の提示

2026年3月

- ・ 中間フォローアップ 案の提示

※協議会の開催時期は現時点の想定 6